

2027 年度 体験授業総合型選抜入学試験 体験授業について

- ・プログラム内容
- ・評価方法
- ・受験生へのアドバイス

しっかり読みこんで体験授業に臨んでください。



自分が変わる、未来を変える。

機械工学科

種別	テーマ	内 容	評価方法
ガイダンス	学科ガイダンス	機械工学科の紹介をします。	体験授業で行われる講義・実験/実習テーマにおける理解度確認のための演習・レポートによる評価(各 100 点) および授業・実習の取り組み姿勢(100 点)、そして意見交換会によるモチベーション評価(100 点)の総合得点にて評価する。
講義	機械設計製図のきほん	ものづくりに必要な設計や製図に関する基礎知識を講義します。	
講義	機械の動きを計算しよう	高校までの数学・物理を用いて、機械の構造とその動作を学びます。	
昼食	—	各自で昼食をご準備頂きますようお願いいたします。	
実験/実習	コンピュータによる機械設計	CAD ソフトを用いて簡単な機械部品の 3D モデルを作成する方法を学びます。	
その他	意見交換会	学科教員と意見交換を行います。	

【受験生へのアドバイス】

機械工学では、中学・高校で学んできた数学・理科をベースとして専門知識を学びます。体験授業当日の講義・実験はそれらの専門科目の一端を講義します。数学(高校の数学Ⅰまでの内容)・理科(単位換算・身の回りで起こる現象の説明)の復習をしっかり行い、体験授業に臨んでください。また、意見交換会では機械工学で何を学びたいか? 大学ではどのように過ごしたいか? を語れるよう準備をしてください。

機械システム工学科

種別	テーマ	内 容	評価方法
ガイダンス	学科紹介	機械システム工学科の紹介をします。	体験授業で行われる ・講義(20 点) ・数学演習(20 点) ・実習(20 点) ・総合評価(40 点) について担当教員が受験生を評価し、その合計点(100 点)にて判定する。総合評価は当日の質疑や受講態度などを踏まえて行う。
講義	エネルギー・熱・エンジン	なぜ機械システム工学科で「エネルギー・熱・エンジン」なのでしょう？その答えは、講義の中で！人類が「代わりに仕事をしてくれるもの」を求め始めた過去から、機械システムのエンジニアが今後も大活躍する未来まで解説します。	
演習	数学演習	数的処理能力、文章読解力、論理的思考力を確認する演習です。特別な数学の知識は必要ありません。	
昼食	—	各自で昼食をご準備いただきますようお願いいたします。	
実習	LEGO で学ぶメカニズム	ロボットや自動車のメカニズムは、教科書を見るだけではなかなか覚えられません。本講義ではリンクや歯車などの機構を、LEGO を使って自分で組み立てながら学びます。	
談話会	意見交換会	総合型体験授業での関心・興味、予想や期待との相違などについて、教員と意見交換を行います。	

【受験生へのアドバイス】

機械システム工学科で学べる内容を事前に調べておきましょう。

講義：説明を聞きながら、メモをとる練習をしておきましょう。講義の最後には演習問題があります。

演習：高校までに学んだ因数分解、方程式、不等式、三角比などの基礎を復習しておきましょう。

実習：説明を聞き、作業を進めていきます。分からないことは質問し、実習課題に取り組めるようにしておきましょう。

談話会：関心や興味を簡潔に説明できるよう準備してください。また、体験授業の感想を話せるようにしましょう。積極的に発言し、自分をアピールしてください。

電気電子工学科

種別	テーマ	内 容	評価方法
挨拶	—	この体験授業の目的や電気電子工学科を簡単に紹介します。	体験授業で行われる講義の受講態度(25%)、講義内容に関する演習課題の評点(25%)、実技テストの評点(25%)、討論・発表の内容と姿勢(25%)の総合評価で合否判定する。
講義	再生可能エネルギーによる脱炭素社会の実現	環境に優しい再生可能エネルギーである太陽光や風力発電を活用することで、地球温暖化に影響する二酸化炭素排出の少ない社会を実現するための課題を勉強します。	
講義	電気・電子回路の動作①	電気・電子回路について、基礎的な講義を行う。	
昼食	—	各自で昼食をご準備頂きますようお願いいたします。	
実験・実習	電気・電子回路の動作②	簡単な電気・電子回路について、前半では PC 上の回路シミュレータを用いて動作を予測し、後半では、実際に回路を組み立て、測定をします。	
その他	意見交換会	体験授業の感想や疑問点などについて、教員と意見交流を行います。	

【受験生へのアドバイス】

高校の教育内容(高校数学、英語)と日常的な自己学習の習慣は大学入学後も重要です。高校数学、英語の十分な復習を行ってください。講義、実験・実習では、その内容についての理解を問う総合的な演習課題を課します。特に、実験・実習では指示をよく聞いていないと、どう着手したら良いのかがわからなくなる事があるので適宜メモを取りながら受講してください。意見交換会では、体験授業の感想と大学進学後の実現したい夢や目標を具体的に語れるように準備をしておいてください。

建築学科 ー建築専攻／インテリアデザイン専攻ー

種別	テーマ	内 容	評価方法
ガイダンス	学科・専攻ガイダンス	建築学部 建築学科 建築専攻／インテリアデザイン専攻の紹介をします。	・各授業における評価を 5 段階で評価する ・それぞれの授業の評価は「演習」「レポート」「制作」「発表」の 4 種類のいずれか、または複数項目で実施する。 ・可否の判定は、各授業の評価の平均点および授業への取り組み姿勢による総合評価による。
講義/実習	日常品を図解してみよう	日常品の仕組みをできるだけ正確に図解し、仕組みを図と言葉によって分かり易く説明します。 ■[当日持参するもの]B または HB 程度の鉛筆数本／消しゴム	
講義/実習	室内の明るさを調べよう	建築空間内を照らしている光の源に着目しながら、実際に室内の明るさを測り、その結果をグラフで表します。 ■[当日持参するもの]筆記用具／定規	
昼食	—	各自で昼食をご準備頂きますようお願いいたします。 X棟の学生ホールにて喫食	
講義/実習	形と力の関係を考えよう	簡単な模型実験を通して、建築物の屋根や梁(はり)などを例に、形と力の関係について学習します。学習した内容を用いて、構造設計の初歩に挑戦します。 ■[当日持参するもの]筆記用具	
講義/実習	模型で建築を表現してみよう	ケント紙などを用いて建築の模型制作を試みる授業です。素材の持つ特性を理解し、構造や形態に配慮しながら、立体的な造形を行います。 ■[当日持参するもの]筆記用具／定規／ハサミ／カッターナイフ	
その他	自分の作品を紹介しよう	体験授業でつくった「建築模型」の発表と講評会を行います。	

【受験生へのアドバイス】

どの授業も、取りくみ姿勢はもちろんのこと、演習・レポート・制作の内容を評価しますが、分析や計算が必要なもの、観察や考察が必要なもの、想像力と創造力が必要なものと、その評価は多岐にわたります。最後の発表では、自分の考えていることが相手にしっかりと伝えられるかのプレゼン力も問われます。

何を問われていて、どうやって解決したらよいかを考えてみましょう。

建築学科 一かおりデザイン専攻一

種別	テーマ	内 容	評価方法
ガイダンス	かおりデザインについて考えてみよう	専攻の説明を聞き、悪臭対策からかおりの活用までかおりデザインについて考えます。	「体験授業」で実施する授業を通して、アドミッションポリシーに基づき、以下の観点により数値化する。 (1)においに対する意識(20点) (2)実験・測定方法に対する理解(20点) (3)実験・演習への取り組み態度(20点) (4)測定データの整理・グラフ化および考察(20点) (5)発表内容および態度(20点) 以上、合計 100 点満点で総合的に評価する。
講義	嗅覚検査を知ろう	においの測定方法と嗅覚検査の必要性の説明を聞き、嗅覚検査の方法を理解します。	
実験・実習	嗅覚検査を体験し、方法を学ぶとともに測定結果を整理し、考察しよう	嗅覚検査体験し方法を理解します。また、結果を整理し、グラフを作成します。作成したグラフから嗅覚閾値について考察します。	
昼食	—	各自で昼食をご準備頂きますようお願いいたします。	
講義	香料、調香を知ろう	香料の分類や特徴、香料を混合して新たな香りをつくる(調香)方法の解説を聞き、理解します。	
実験・実習	調香体験をし、香りの評価を行い、結果から香りの特徴を考察しよう	調香を体験し、新たにつくった香りの官能評価を行います。評価データを整理し、香りに対する感覚的特性について考えます。	
発表	香りの感覚的特性について考えたことを発表しよう	官能評価結果をもとに、香りの感覚的特性について考えた内容を発表します。	

【受験生へのアドバイス】

街のにおいや食事のかおりなど、日常の中にある「におい・かおり」に意識を向けてみましょう。感じたにおいを自分の言葉で表現することが、感性を伸ばす第一歩です。身近なにおいに触れながら興味を深めていきましょう。何より大切なのは、におい・かおりへの好奇心です。

建築学科 一都市空間インフラ専攻一

種別	テーマ	内 容	評価方法
講義・実習	計測と調査	インフラを建設する際には、様々な「量」を計測し、分析し、評価をします。本講義では、それらの中のひとつの「量」を計測して、計算し、その「量」に関する議論をおこないます。	インフラ建設・設計を題材とする講義・実習・演習 →各コマ 40 点 作図作業・ディスカッションの授業を通しての評価(理解力・作業力・自己表現力) →各コマ 60 点 上記 計 100 点にて総合評価
演習	基礎的な数学・論述に関する演習	インフラの設計などで必要な数的判断力や論理構成力に関する演習を行います。	
昼食	—	各自で昼食をご準備頂きますようお願いいたします。	
講義・演習	道路のデザイン	道路にはどのような役割や機能があるのか、また道路はどのように設計されているのかについて学びます。そして、与えられた条件の下に、実際に簡単な道路の横断面設計を行います。	
ディスカッション	都市空間の未来	都市活動を維持するためにはインフラが欠かせません。この様なインフラを維持し新たに創造していきたいと思った理由や、未来の都市空間について、皆さんの考えや意見を踏まえてディスカッションします。	

【受験生へのアドバイス】

すべての授業で皆さんの取り組み姿勢を評価しますので、積極的に質問するなどして欲しいと思います。また、演習では指示をよく聞いていないと、どう着手したらよいかかわからなくなるので適宜メモを取りながら集中して受講してください。ディスカッションセッションでは、最後にグループ討論がありますが、まずはそれぞれの予備知識が必要です。防災やインフラ整備について基本的なことのでいいので予習して参加してもらえたらと思います。

情報システム学科

種別	テーマ	内 容	評価方法
ガイダンス	情報システム学科紹介	情報システム学科の学びについて紹介します。	1. 基礎的な数学に関する演習（20点） 2. 講義理解度確認課題（20点） 3. 実習理解度確認課題（20点） 4. 授業への取り組み姿勢、主体性、協調性、意見交換会におけるコミュニケーション能力など（40点） 上記の合計 100 点により、総合的に評価する。
演習	基礎的な数学に関する演習	大学の授業に適応できる基礎的な数学の力を評価するための演習を実施します。	
講義・課題	コンピュータネットワークの仕組みを理解しよう	コンピュータネットワークに関する模擬講義を受講し、理解度を確保するための課題に取り組みます。	
昼食	—	各自で昼食をご準備頂きますようお願いいたします。	
実験・実習	ワンチップマイコンのプログラミングに挑戦しよう	ワンチップマイコンのプログラミングに挑戦し、ロボットカーをコントロールするプログラムの作成を通して、基本的なマイコン制御の学習を体験します。	
課題	理解度確認課題	実験・実習の理解度を確保するための課題に取り組みます。	
面談	意見交換会	体験授業の感想や本学科への興味・関心などについて、教員と意見交換を行います。	

【受験生へのアドバイス】

ガイダンスでは、説明を注意深く聞き、情報システム学科の学びについて理解を深めましょう。

演習では、主に数学の基礎的な問題に取り組んでいただきます。日頃から基礎学力を身につけておきましょう。

講義・実習では、メモを取りながら主体的に取り組み、理解度確認課題に備えましょう。

意見交換会は、グループ形式で行います。過度に緊張せず、自分の考えを率直に伝えることを意識しましょう。

情報デザイン学科

種別	テーマ	内 容	評価方法
学科紹介	情報デザイン学科について	幅広い分野を有する情報デザイン学科に関する説明をします。	1: 演習(小論文含む) 20 点 2: 実習(テーマに対する解決案) 着眼点(22 点)、思考力(22 点)、発表(22 点) の合計 66 点 上記の合計 86 点満点で総合的に評価する。
演習	基礎的な力の評価	大学の授業に適応できる基礎的な力を評価するための演習を実施します。(40 分)	
実習	身近な問題について 解決策を提案する	身近にある問題について、解決するための方法を自分自身の視点で考え提案します。授業の最後に、資料を用いたプレゼンテーション(個人発表)を行います。(1 時間 20 分)	
昼食	—	各自で昼食をご準備頂きますようお願いいたします。	
実習	身近な問題について 解決策を提案する	午前中の続き(60 分)	
発表	身近な問題について 解決策を提案する	プレゼンテーション及び質疑応答(2 時間 30 分)	

【受験生へのアドバイス】

実習で制作する提案資料では情報収集力・着眼点・論理的思考能力・発想力を、プレゼンテーションでは意図を的確に伝える力と対応力を評価します。将来に向けた強い目的意識を持つことも重要で、日頃から様々な分野の作品や、社会の出来事に関心を持つと良いでしょう。

総合情報学科

種別	テーマ	内 容	評価方法
ガイダンス	総合情報学科について	総合情報学科に関するガイダンスを行います。	学びの確認（20%）、体験授業で行われる講義・演習内の理解度と取り組む姿勢(60%)、課題レポート(20%)の総合評価で合否判定する。
演習	学びの確認	入学後の学びに必要な基礎的事項の確認	
講義	簿記の基礎	簿記に関する基礎的な事項について検討します。	
演習	レポート作成	講義「簿記の基礎」の内容に関しレポートを作成します。	
昼食	—	各自で昼食をご準備頂きますようお願いいたします。	
講義	運動時のヒトのエネルギー代謝	運動中のヒトのエネルギー代謝反応を実際に演習を通して分析します	
演習	レポート作成	講義「運動時のヒトのエネルギー代謝」の内容に関しレポート作成します。	

【受験生へのアドバイス】

講義や演習は積極的に取り組む姿勢を評価します。グループワークやグループディスカッションを実施することもありますので、適切な個性発揮と積極性を期待します。
また適宜、メモをとることで最後のレポート作成に備えてください。